



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 河田 茂美

■交通防犯部会

1) 交通安全講習会が開催されました。

例年交通安全講習会は、企業の方々が夏期休暇を無事故で過ごして頂く狙いがあり、この時期に開催をしており、今年は、8月6日管理センター大会議室にて、講師に真岡警察署交通課長矢内様を迎え、テーマ『管内の交通情勢と交通安全対策について』講習会を開催しました。

講演に先立ち、前田交通防犯部会長より、部会の諸活動への協力に対して感謝の言葉及び、交通防犯部会の活動実績についての話が有りました。

講演ではまず、栃木県内の交通事故の実態についての話で、昨年の県内の交通事故発生件数は、8,054件・前年比-359件、死亡事故件数94名と57年振りに100人を下回ったとの事、しかし人口10万人あたりの死者数は、4.7人との事で、全国ワースト15位であるとの御話が有りました。

真岡警察署管内に於いては、今年度は増加傾向に有り、芳賀町内でも死亡事故が発生しているとの事。



■芳賀型について

事故の多くは、見通しの良い場所で発生しているとの事で、真岡警察署管内では芳賀型事故と称され、それらの事象はどうして発生しているか、映像を用いての説明では、左方向から同じ交差点に向かう車が自車のフロントピラーの死角で相手の車が、全く見えず交差点付近で突然現れる映像。相手より自分が走行している道路の幅が広く優先権があるように見えてしまう現象を映像で見せて頂きました。

又、交差点で双方ともに、相手が止まってくれるものと思いこみ交差点に進入する為、尚且つこの時のスピードが高いために、死亡事故に繋がる事が多いとの事でした。

■3S運動の励行

真岡警察署管内では交差点における重大事故に対応し、3S運動を実施しており、よく見る(S E E)、減速する(S L O W)、止まる(S T O P)のやさしい運転を目指して頂きたいとの事でした。参加された、企業27社の53名の方に於かれましては、ご多忙の中、出席ありがとうございました。芳工連の皆様も3S運転で、「交通事故ゼロ」を目指しましょう。

■真岡地区に今年度 2 回目の交通死亡多発警報が発令されました。

真岡地区（芳賀町 益子町 真岡市）で17日までの5日間に2件2人の交通死亡事故を受け、県交通安全対策協議会（会長 福田富一知事）が19日同地区に交通死亡多発警報を発令しました。

■緊急街頭広報活動の実施

芳賀町内に於いては、8月26日町内3ヶ所に於いて、緊急街頭広報活動が実施され、芳工連交通防犯部会は、芳賀町・地域交通安全推進関係者の方々と、管理センター前交差点にて、緊急街頭広報活動を実施しました。実施に先立ち、見目教育長より、交通事故に関しては、運転をする人の漠然とした気持ちや事故に繋がる事が多く、特に危険予知、ヒヤリ・ハットなどの、運転者自身の交通安全への意識向上が必要不可欠であるとの挨拶の後、各自が交通安全の啓蒙パンフや安全グッズを手に、通勤途中の方に交通安全への協力を求めました。



■夜空に大輪の華が咲きました

はが野の、夏の夜空を彩る芳賀町ロマン花火2013が、8月3日（土）19：30より、道の駅はがにて開催されました。

約5,000発の花火が打ち上げられ、浴衣姿の家族連れなど、約5万人が五行川の水面に映る花火に魅了されました。

※ 企業様よりロマン花火への協賛を頂き
ありがとうございました。



■芳賀郡市 公衆衛生協会理事会開催

1) 芳賀郡市 公衆衛生協会理事会・総会開催

平成25年度 芳賀郡市公衆衛生協会理事会・総会が8月21日、県東健康福祉センターにて開催されました。公衆衛生協会は昭和41年設立で、今年で47年目を迎えるとの事で、設立の目的は、芳賀郡市の公衆衛生の向上に寄与する事を目的に、芳賀郡市内の医師会・歯科医師会・栄養士会・衛生組合・工業団地団体・各市町で構成されています。審議は、事業報告及び予算案の審議、秋開催の公衆衛生大会で、表彰対象となる個人・団体の選定基準についての審議等がなされました。

また、大会で宣言される大会宣言文(案)について審議され、内容・文言について特に異論の無い事が確認され、無事総会は終了しました。



■栃木県 県土整備部への陳情

8月19日 澤田会長・富永副会長・前田交通防犯部会長・事務局にて、県土整備部へ『交通環境整備について』陳情に伺いました。今年度は、熊倉県土整備部長様の提案により、県内の3土木事務所長様にも同席を頂き、それぞれに詳細説明をさせて頂き早期の実現のお願いをしました。陳情内容については、4項目を提案させて頂いております。



(県よりの回答に付いては概要を記載させて頂きました)

1) 宇都宮テクノ街道(64号線)の国道4号線までの延伸(接続)の促進について

※ 残り600mの延伸接続工事については、県としても一日も早く開通させたいと考えており、地権者の方の理解を得られる様に努力をしております。

2) 県道宇都宮・向田線の大塚地区道路改良の促進について

※ 地権者の方の理解が得られつつある状況で、用地買収後、順次工事を展開して参ります。

3) 県道宇都宮・向田線の廻谷地区道路改良(バイパス)の促進について

※ 地元の説明を行い理解して頂き、測量・設計を実施しております。

今年度は、具体的に杭打ち等を行い、範囲を明確に提示の予定です。

4) 国道408号線に係る国道123号線及び鬼怒通り(県道64号線)交差点の立体化要望

※ 立体の構想はありますが、まずは結ぶ事を優先しており、野高谷交差点付近については、右左折レーンの拡張も検討しております。

いずれの項目についても、栃木県としては、周辺に真岡・清原等の工業団地を控えており、道路は、産業の大動脈との認識から、一日も早い供用を目指しているとの事でした。

■鬼怒工業用水協議会開催

8月20日鬼怒工業用水協議会が、鬼怒工業用の供給を受けている平出工業団地・真岡工業団地・清原工業団地・芳賀工業団地に立地している企業9社を始め、各工業団地管理協会・県企業局30名程が参加し高根沢町宝積寺の鬼怒水道事務所で開催されました。



議事は、8月上旬に取水制限が解除された事の報告と協力へのお礼の言葉、及び施設能力に対し、利用率が34%と供給力に大きな余力がある事、昨年

の10月1日の台風17号通過により取水した水の濁りが、大幅に悪化したにも関わらず、配水した水の濁りは全く問題ないなど、品質管理が徹底している旨の報告が有りました。

また、平成22年6月に起きた鬼怒川(岡本頭首工)への油流入事故に絡み、その対策についての説明では、施設への油流入防止対策・バックアップ対策・断水時間の短縮対策・河川水質の改善等の『油流入事故を未然に防止する計画』を確実に実施しており、現在はバックアップ対策としての配水池築造工事との事で、平成26年より稼働との説明が有りました。

今回の会議では、常に品質の保たれた水を、安定供給する事の難しさを改めて痛感させられました。

■各部会情報交換会開催

8月23日総務企画部会(右写真上段)・8月30日安全衛生部会&交通防犯部会合同の情報交換会

(右写真下段)が宇都宮市内にてそれぞれ開催され、いずれの情報交換会にも多忙の中、大勢の部会員の皆様に参加をして頂きました。部会活動の中では、時間の制約もあり事務的な対応になりがちですが、この情報交換会では、アルコールで舌を滑らかにしながらの情報交換で、会員相互の親睦を大いに図る事が出来ました。

安全衛生部会・交通防犯部会合同の情報交換会は、初顔の方々も居り、各々に自己紹介をして頂いた後、前田交通防犯部会長の挨拶の後、情報交換会に入りました。各々、仕事や趣味の話に花が咲くなど、ネットワーク造りにも寄与が出来、実り多い合同情報交換会でした。



■408号線真岡宇都宮バイパスが暫

定供用されました

国道408号のバイパスとして整備されている「鬼怒テクノ通り」が8月11日に井頭公園入口交差点より、国道123号線(宇都宮市氷室)までの5.2km区間が暫定供用され、これによって真岡ICからの約1.1kmが通行可能となり、真岡方面より芳賀工業団地への交通アクセスが格段に向上しました。本沿線には、真岡工業団地、清原工業団地が立地しており、当芳賀・高根沢工業団地共々一日も早く供用を願っておりました。

鬼怒テクノ通りは、「常総・宇都宮東部連絡道路」の一部を形成する路線であり、地域高規格道路で交差点も少なく、供用されている区間は一部区間を除いて現在は速度60キロ制限となっています。

又、国道121号線と国道408号線の交差点から鬼怒テクノ通りに延びる「みずほの通り」の整備も行われており、平成26年度供用予定との事です。



芳工連日誌

【08月の実績】

- 03日 芳賀町ロマン花火開催
- 06日 交通安全講習会
- 13日~15日 休館日
- 19日 県土整備部への陳情
- 20日 鬼怒工業用水協議会
- 21日 芳賀郡市公衆衛生協会総会
- 21日 芳賀町ゴルフ連盟役員会
- 23日 総務企画部会情報交換会
- 26日 緊急街頭広報活動への参加
- 28日 資源ごみ回収日
- 30日 交通防犯・安全衛生部会合同情報交換会

【09月の予定】

- 13日 環境整備部会情報交換会
- 20日-30日 秋の交通安全運動
- 20日 交通防犯部会第2回部会交通安全のぼり旗設置
- 25日 交通安全街頭指導
- 28日 資源ごみ回収日